

さいたま市長メッセージ（令和2年9月1日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

本市では、8月30日までの1週間で、869件の検査を実施し、39名の新規陽性者が判明しました。前の週と比べ、高齢者の割合がやや減少し、感染経路は家庭内が最も多く、次いで職場の順になっています。

重症化のリスクが比較的高い、高齢者や基礎疾患をお持ちの方がご家庭にいる場合は、十分に注意してください。

先日、緊急対策第6弾を発表しました。

まず、医療・検査体制の更なる強化として、PCR検査機器を新たに購入し、市が行う1日当たりの最大検査数を、120検体から160検体に増やします。また、一時的に大量の検査対象者が出た場合に備え、外部の民間検査機関に検体検査を依頼できる体制を整備します。

加えて、市民の皆様の安心につながるよう、小学校区ごとに1、2か所のPCR検査が可能な医療機関を配置し、身近なかかりつけ医で検査を受けられるよう体制を整備してまいります。

最終的には、市が行う検査と合わせて、最大1日当たり1,000件以上の検査ができる体制を目指します。

家庭への支援としましては、令和2年度に予定していた市立小・中・高等学校の修学旅行等の中止及び延期により発生する経費を、公費で負担します。

また、貸出用のWi-Fiルータを各校に配備し、学校で使用するタブレット端末とともに各家庭に持ち帰り、インターネットを利用しての学習を継続できるようにします。

6月下旬から新規感染者が増加しておりましたが、市民や市内事業者の皆様

のご協きょうりよく力りきにより、ここ最近さいきんは新規しんき感染者かんせんしゃ数が減少げんしょうしています。改あらためて感謝かんしゃ
申もうしああげますとともに、引ひきつつづき、皆みな様さまと共ともに、このコかロのナこ禍わざを乗り越こえてい
きましょう。